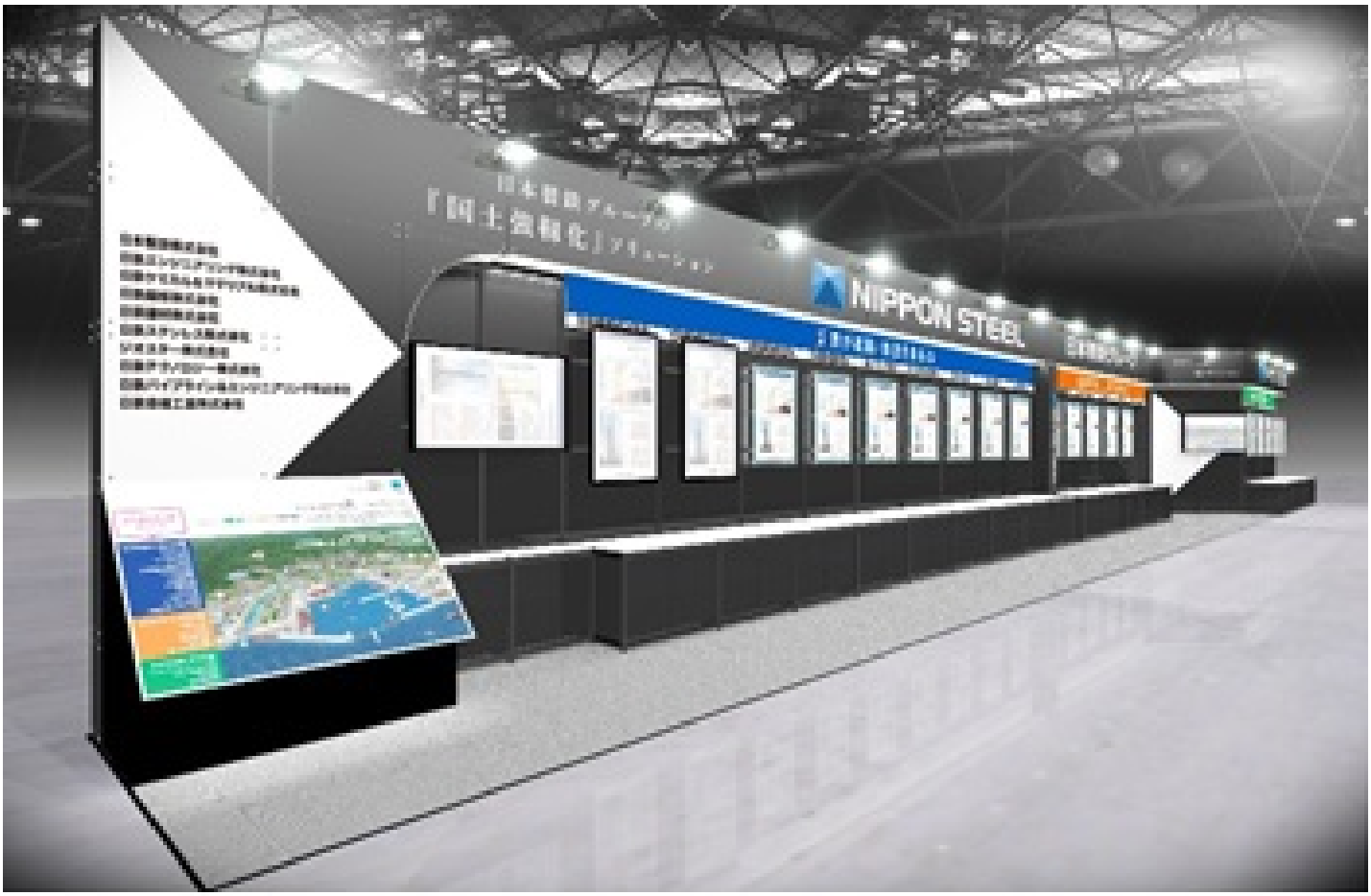


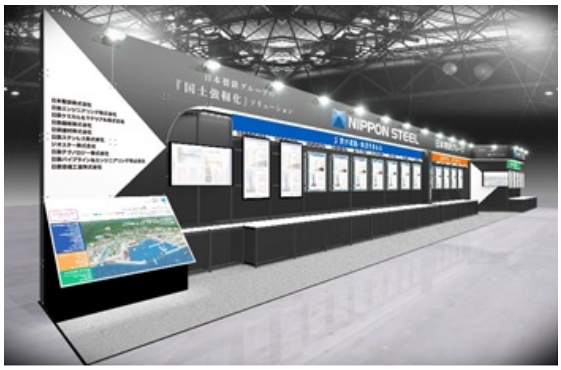

# 日本製鉄グループ10社が「建設技術展2021近畿」に出展

日本製鉄株式会社　　2021年10月22日

日本製鉄株式会社は、日本製鉄グループ10社（日本製鉄(株)、日鉄エンジニアリング(株)、日鉄ケミカル＆マテリアル(株)、日鉄鋼板(株)、日鉄建材(株)、日鉄ステンレス(株)、ジオスター(株)、日鉄テクノロジー(株)、日鉄パイプライン＆エンジニアリング(株)、日鉄溶接工業(株)）にて、10月27日から10月28日の2日間、インテックス大阪で開催される「建設技術展2021近畿」（日刊建設工業新聞社、（一社）近畿建設協会主催）に出展します。「建設技術展2021近畿」は、企業・行政関係機関・学校等が多彩な技術・工法を展示・紹介するとともに、産・官・学が交流することで、これまで培われてきた建設技術のより一層の高度化やより広範囲な技術開発の促進へとつなげ、新技術の各工事への積極的な活用を促すことを目的としています。

近年、集中豪雨・台風や巨大地震・津波などの自然災害が頻発・激甚化しています。これに対して、政府・自治体で進められている「防災・減災、国土強靱化」施策が加速化され、インフラや建築物などの防災対策や老朽化対策のニーズが一層高まっています。本技術展において、日本製鉄グループは「道路・鉄道をまもる」、「海・山・川をまもる」、「街・建物をまもる」の3つのテーマで、「防災・減災、国土強靱化」施策に貢献する製品・工法を提案します。
今回、コロナ禍での出展にあたり、感染予防対策を徹底した展示会運営に努め、対面説明に加えて、昨年に引き続いてオンラインでの製品・工法説明も実施します。また、展示パネルやグループガイドブックには、関連カタログ類にアクセスするＱＲコードを付与する等の工夫をした出展としています。

【日本製鉄グループの展示イメージ】




■「建設技術展2021近畿」ホームページ（https://www.kyokai-kinki.or.jp/kengi2021/top.html）

　日本製鉄は、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)にも合致した活動（「産業と技術革新の基盤をつくろう」「住み続けられるまちづくりを」）を通じて、これからも社会の発展に貢献していきます。